

～三番町ごきげんクリニック～

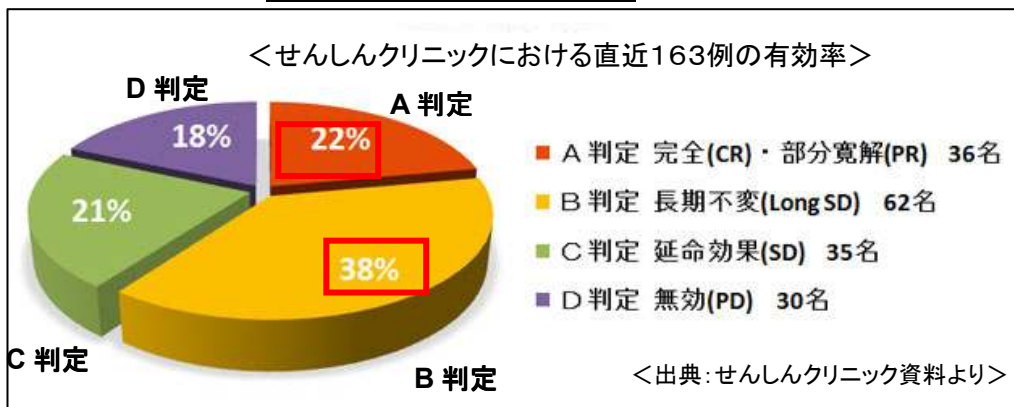
国内初の特許を取得した、「5種複合免疫療法」を開始

5種類の免疫細胞を同時に活性化する画期的ながん治療

先進的ながん治療とアンチエイジング医療をご提供する三番町ごきげんクリニック(東京都千代田区、院長 澤登雅一)は、このたび新しいがん治療法として、5種複合免疫療法を開始しました。これは、5種類の免疫細胞を同時に活性化する新しい治療法で、免疫細胞同士の相互作用によって、がん細胞への攻撃力が強化され、高い治療効果を得ることができます。この治療法は、開発元のせんしんクリニック(熊本県熊本市、培養責任者 医学博士 倉持恒雄)が2012年3月に国内初の「がん免疫治療用細胞の製造方法」に関する特許を取得しており、当クリニックは、せんしんクリニックの提携医療機関として治療を始めています。

■せんしんクリニックでは60%の治療有効率を達成

免疫療法とは、自己の免疫細胞を採取し、活性化・増殖させて再び体内に戻すことで免疫力を強化して病気を治療する方法。当クリニックが今回取り入れる5種複合免疫療法は、従来の1～2種類の免疫細胞の活性化ではなく、①NKT細胞、②NK細胞、③ガンマデルタT細胞、④キラーT細胞、⑤樹状細胞の5種類の免疫細胞を同時に活性化するもの。この療法を開発したせんしんクリニックで、1クール6回の治療を受けた直近163名の**がん患者の治療有効率は、60%**となっています。



治療有効率 完全または部分的な治癒(A判定)と長期不変(B判定)の患者数を足した割合

A判定: 完全・部分寛解・・・腫瘍が消失した。腫瘍マーカーが下がった。再発の兆しが無い状態。

B判定: 長期不変・・・腫瘍の大きさ、転移の状況も不変。腫瘍マーカーが下降あるいは横ばいの状態。生活の質が改善された状態。

■5種複合免疫療法の特徴

5種複合免疫療法には、以下のような特徴があります。

- ・ 一部の白血病、悪性リンパ腫を除く、ほぼすべてのがんに対応
- ・ 副作用が少なく精神的・肉体的負担がない
- ・ 他のがん治療と併用することによって、さらに効果が期待できる
- ・ 再発・転移の予防にも効果的
- ・ 治療は採血と点滴で、入院の必要がない
- ・ 抗がん剤、放射線治療と併用することで、副作用の軽減や生活の質の改善に役立つ

三番町ごきげんクリニックでは、がんを”究極の老化”ととらえ、個別化治療を目指した先進的ながん治療に取り組んでいます。これまでに、高濃度ビタミンC点滴療法、フェニルブチレート療法、アンチネオプラストン療法を中心にがん治療を行ってきましたが、今後、5種複合免疫療法を加えることで、より一層高い治療実績をあげることを目指していきます。

■ 5種複合免疫療法の治療の流れ

1)採血

免疫細胞の培養のために採血を行います。培養期間は約2～3週間です。

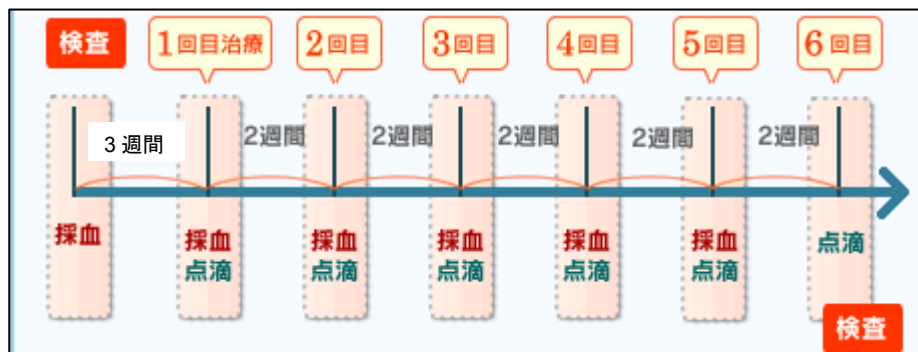
2)5種複合免疫細胞の投与

100mlの点滴用バッグ(免疫細胞浮遊液入り)を用いて点滴します。投与時間は20～30分です。

3)投与スケジュール

2週間ごと(初回は3週間)に、外来で計6回の点滴治療を実施します。投与スケジュールは患者様の状態に合わせて調整します。治療期間は約3カ月です。

<基本的な治療の流れ>



【三番町ごきげんクリニック】

- 設立年: 2005年
- 事業内容: アンチエイジング医学の治療及びコンサルティング/がんの個別化治療
- 院長: 澤登雅一
- 所在地: 東京都千代田区三番町 8-1 三番町東急アパートメント 1101
- TEL: 03-3237-0072
- ウェブサイト: <http://www.cancerclinic.jp/>
- スタッフブログ: http://d.hatena.ne.jp/gokigen_clinic/

<お問い合わせ>

三番町ごきげんクリニック 広報担当:市川美穂/大谷恵
 TEL: 03-3237-0072 FAX: 03-3237-0039 E-Mail: info@kenko.org